

市販品とココが違う！！

黄ばみを完全解決「ヘッドライトクリーン&プロテクト」

街中を走る半分近くの車が、ヘッドライトの黄ばみ等何らかの問題を抱えています。その問題を解決するメニューとして「ヘッドライトクリーン&プロテクト」は、多くのユーザーに大変喜ばれています。

ヘッドライトの黄ばみやくもりを、ユーザー自身がドライブショップやDIYでメンテナンスをする場合も多いですが、その時はキレイになったけどまたすぐ元通りになってしまうことがほとんどであるため、プロに依頼してキレイにしようと考えている方も増えています。

そこで、ヘッドライトの構造と「ヘッドライトクリーン&プロテクト」の仕組みを紹介します。

ヘッドライトの構造と黄ばみの原因

現在のヘッドライトの材質には「ポリカーボネート」という樹脂が使われています。理由として

- ①衝撃に強い ②透明度が高い ③ガラス製に比べ軽い ④造型がしやすい

などが挙げられます。しかし樹脂は劣化しやすいため、レンズ表面に耐候塗料としてハードコートが塗装されています。一般的にヘッドライトのハードコート層は5～10ミクロン程度で、塗膜の表面硬度は3～4H程度です。

最大の特長は、ヘッドライト専用コートとして紫外線に対する耐候性が高いこと。国産車の場合、屋外保管下で**通常3～5年程**は外的要因に影響を受けず、皮膜を美しい状態のまま保つことができます。

しかし5年を超えてくると、ハードコートが「紫外線」や「傷」、「熱」により劣化を起こし、変色や傷の隙間に汚れが入り込み、黄ばんだ状態になってしまうのです。

市販の黄ばみ取りは紫外線をカットできないため、黄ばみが戻る

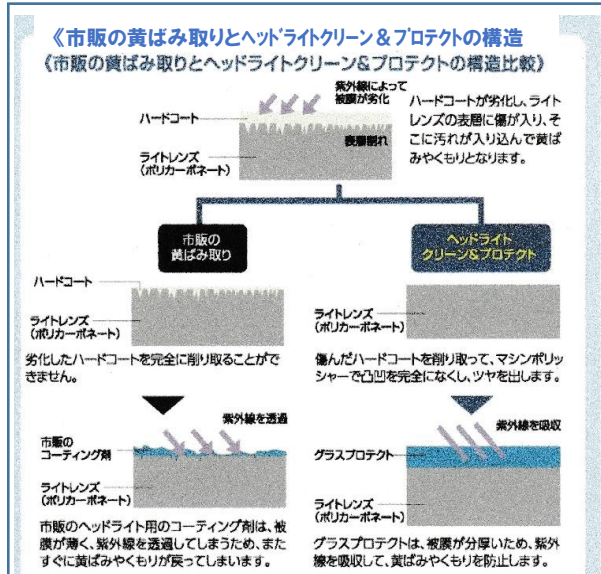
市販の黄ばみ取りは、劣化したハードコートや凸凹になったポリカーボネートを平らに削り取りきれない上に、保護する皮膜が薄く、紫外線を透過してしまうため、すぐに黄ばみやくもりが戻ってしまいます。

ヘッドライトクリーン&プロテクトは分厚い皮膜が紫外線を吸収し、黄ばみを防ぐ

「ヘッドライトクリーン&プロテクト」は、まず劣化してしまったハードコートを完全にに取り除き、ポリカーボネートの表面を整えることにより黄ばみ等を根本的に取り除きます。

しかし、そのままではまた黄ばみが再発しやすくなるため、ガラスプロテクト（ガラス系コーティング）で保護します。

ガラスプロテクトは皮膜が分厚いため、紫外線を吸収して光をカットしてくれます。このことにより高い耐久力を保持し、黄ばみ防止になるのです。



☆ヘッドライトがキレイになるまで☆

・かなり黄ばんだ状態、、、汗



・まずは黄ばんだハードコートを丁寧に削り落としていきます。



・ハードコートをキレイに落とした後は磨いて仕上げていきます。



・黄ばみが見事に落ちてピッカピカになりました。クリーニング前と比べるとその差は歴然！！



・磨き終わった後はガラスプロテクトでしっかり保護。黄ばみ再発を防止！！



しかもただキレイになるだけじゃないんです！



すこし見づらいかもしれませんが、クリーニング前はライトの光が**ぼやけている**のに対して、クリーニング後は光が**ハッキリクッキリ**しています。実は**ヘッドライトが黄ばんでいるとライトが暗くなる原因**になるんです。ライトが暗いなーと感じられたら、黄ばみが原因かもしないですよー！